

「恐怖」を 現場教育の名のもとに 無理矢理体験させられた

「報道STATION」で



JR西日本の
「新幹線時速300キロ体感研修」
が報道される！！



10月12日、テレビ朝日の「報道STATION」で、JR西日本の「新幹線時速300キロ体感研修」の様子が報道されました。

「研修を受けた社員の同僚」の方は「実際に**バラス（砂利）**が飛んで来たら、ヘルメットも穴が開いて**死に至る**と思う。リスクを負ってまで体感させるのが教育訓練なのかと疑問に思う。『普通の常識はJR西日本では非常識』と言われていた」とコメントしていました。

JR西労の前川書記長は「恐怖感をもって体験させることで、同じヒューマンエラーを繰り返さないように教え込もうとしていると思う。原因に対する有効な再発防止対策をするべきであり、『体感』をもってやるのは**精神論でしかない**と思う」とコメントしています。JR西労として「安全面への疑問」と「ただの恐怖体験」であることから、これまでJR西日本会社に対して、7回にわたって研修中止を訴えています。原因を究明する風土を創り上げ、労働組合としてチェック機能を果たして安全を築き上げることが重要です。



精神論では安全は築けません！

原因究明する力を養い、安全な職場風土を創り出そう！！